

科目区分	専門教育科目	科目名	介護実習3		科目コード	40803	担当者	実習担当教員
対象学生	介護福祉士コース1年生	学期区分	1年	単位数	2	卒業要件		必修
						免許・資格要件	介護福祉士必修	
科目の主題						成績評価の方法と割合		
<p>実習区分（Ⅰ）最後の実習である。 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者施設、訪問介護での実習において、利用者の生活や個性を理解する。利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する学習とする。</p>						レポート・提出物（40%） 実習態度・評価（60%）		
科目の到達目標						教育目標に基づく学修成果の到達目標		
						誠実な人柄と人間力（尽心）	高度な知性と創造力（創造）	明確な意志と実践力（実践）
1.	特別養護老人ホーム（※該当者は訪問介護含む）等、実習施設の役割を知る。					○	○	○
2.	利用者の全体像や生活を理解し、アセスメントによって課題を明確化できる。					○	○	
3.	日常生活上の基本的な生活援助が、指導者の指示で実践できる。					○	○	○
4.	介護福祉士の職務の専門性や、チームの一員としての役割を理解できる。					○	○	○
5.	医療的ケアを受ける対象者像について理解する。					○	○	
授業方法								
学外実習（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、障害者施設のいずれか一つに、10日間の実習である）								
準備学修（予習、復習等に必要な時間または具体的な学修内容）								
1) 実習の意義・目的を理解する。 2) 実習施設の概要、主な業務など施設についての基礎知識を習得しておく。 3) 実習記録の方法について理解しておく。 4) 介護過程の方法について理解しておく。 5) 実習に必要な介護技術や利用者理解のための知識を習得しておく。 6) 福祉関係法規の理解								
授業計画								
(1) 利用者の生活に触れ、その身体的特徴に関する理解を深める。 (2) 利用者とのコミュニケーションを通して、その精神的特徴に関する理解を深める。 (3) 入所背景、家族背景など、利用者の社会的特徴を把握することの意義を理解する。 (4) 実習施設の概要を理解する。 (5) 在宅生活をしている人の生活を知り、訪問介護サービスの内容が理解する（※該当者のみ） (6) 利用者に関する情報収集を行い、全体像を把握し、生活課題を明確にする。 さらに、利用者記録に整理する。 (7) 利用者の状況に応じた援助を学ぶ。 ・安全と安楽に留意し、基本的介護技術を体験する。 ・体験した介護に関する知識や技術を振り返る。 など (8) 介護福祉士の役割を理解する。 ・担当利用者のアセスメントを通し、チームワークの具体的なあり方を学ぶ。 (9) 経管栄養の実際を見学し、その必要性と留意点を学ぶ。								
教科書・参考書					受講生へのメッセージ			
新・介護福祉士養成テキスト 「介護総合演習」中央法規出版					実習3では、介護実践に関して求められることが増えると同時に、介護過程の展開についての準備も開始することになります。慌ただしく感じられるかもしれませんが、そんな時こそ基本に戻り、目の前の利用者に寄り添うことを意識して取り組みましょう。			